

## 農山漁村地域整備計画における事後評価

- 1 整備計画名：都市と農山村の暮らしを支える京都・乙訓地域森林・林業再生計画
- 2 整備計画年度：平成22年度～平成24年度（3年間）
- 3 事後評価年度：平成25年度

事後評価項目	評価の内容
①交付対象事業の進捗状況	本計画の実施地区は大半の地区が平成23年度に地域自主戦略交付金に移行したため、これらに関連事業に位置づけし、事後評価を一体的に行うこととします。
	・ 治山事業 京都・乙訓地区 平成24年度に完了しました。
	・ 農業用水保全の森づくり事業 京都・乙訓地区 平成22年度に完了しました。
	・ 森林整備事業 京都・乙訓地区（深見大布施線） 計画期間内の事業は実施しましたが、一部計画を変更して残事業を次期計画で実施予定。
	・ 漁場保全の森づくり事業 京都・乙訓地区 平成24年度に完了しました。
	・ 効果促進事業 京都・乙訓地区 平成24年度に完了しました。
	・ 森林環境保全直接支援事業環境林整備事業 京都・乙訓地区 平成24年度に完了しました。
②事業効果の発現状況	・ 治山事業 京都・乙訓地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ 農業用水保全の森づくり事業 京都・乙訓地区 平成22年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ 森林整備事業 京都・乙訓地区（深見大布施線） 計画期間内の事業量実施により事業効果が発現しました。
	・ 漁場保全の森づくり事業 京都・乙訓地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ 効果促進事業 京都・乙訓地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ 森林環境保全直接支援事業環境林整備事業 京都・乙訓地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	・ 農業用水保全の森づくり事業 京都・乙訓地区（久多尾越線） 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。
③成果目標の目標値の実現状況	①間伐材搬出量の増加（3カ年平均） 【目標値】 2,000m <sup>3</sup> /年(H19～21平均) →5,000m <sup>3</sup> /年(H22～24平均) 【実現状況】 2,000m <sup>3</sup> /年(H19～21平均) →6,028m <sup>3</sup> /年(H22～24平均)
	②山地災害防止機能が高まった集落数の増加（3カ年） 【目標値】 21集落(H21時点) → 24集落(H24時点) 【実現状況】 21集落(H21時点) → 24集落(H24時点)
④今後の方針	整備計画年度を平成25年度～平成27年度（3年間）とする新たな計画を樹立し、今後とも林道整備により経営基盤の強化を図るとともに、治山事業により流域の安全を確保し、林業生産活動を活性化させることにより間伐材搬出量を増加させることとします。